

観光産業・観光消費額の計測と分析

釧路・根室地域は、湿原に代表される自然環境や新鮮な食材などの観光資源に恵まれ、内外から大きな期待を寄せられています。これらの地域内の資源を活かした観光産業の育成は、低迷する地域経済をささえる意味でも、ひとつの方策として考えられます。

今回のセミナーでは、釧路公立大学地域経済研究センターにおいて平成12年度から取り組んでいる地域観光に関する共同研究の一環として、当センターの客員研究員でもある財団法人日本交通公社の塩谷研究員を講師に、地域を訪れる人々の地域内での消費による経済波及効果の計測方法や分析の進め方について考える場としたいと考えています。

講師 塩谷英生氏

(財団法人日本交通公社 研究調査部主任研究員)

コメンテーター 釧路公立大学経済学部教授 新山 毅

モデレーター 釧路公立大学地域経済研究センター長 小磯修二

釧路公立大学 1階 第2会議室

(釧路市芦野4丁目1番1号 電話 0154-37-5325)

2002年11月29日(金) 午後6時～8時

講師略歴 1989年 (財)日本交通公社入社

【主な担当調査】

景気低迷下において我が国経済に観光産業が与えている影響とその対応に関する緊急調査(運輸省・JATA・'94)/台東区観光ビジョン策定調査(経済効果推計)(台東区・'99)/弘前市観光産業経済波及効果調査(青森県弘前市・'99)/沖縄県における旅行・観光の経済波及効果調査(沖縄県・JTBF 共同・'00)/旅行・観光産業の経済波及効果に関する調査研究(国土交通省・'00-'02)

参加料は無料ですが、参加ご希望のかたは事前にお申し込みをお願いいたします。

釧路公立大学地域経済研究センター 電話 0154(37)5325